

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2015 年 2 月 13 日

No.13

交渉中断！

会社は施策に臨む決意と覚悟を一切明らかにせず！

【申第7号「諸手当の見直しに対する申し入れ」団体交渉報告】

本日15時30分より申第7号「諸手当の見直しに対する申し入れ」に基づく団体交渉を行いました。

中央本部は、諸手当の見直しは組合員が血を流す理不尽な施策であり、受け入れがたい施策である。そのような施策を実施するのであれば、経営陣の覚悟と決意を組合員に見える形で具体的に提示すべきである。そのこと無しに組合員にのみ犠牲を強いる手当削減は認められない。具体策を明らかにすること。と会社に迫りました。

この主張に対して会社は、経営陣としての決意と覚悟は今後しかるべき時に明らかにするが、現時点でその内容について判断には至っていない。と回答しました。

この会社の回答に対し中央本部は、「会社の姿勢は問題意識が欠如していると言わざるを得ず、誠実な姿勢が全く見られない。団体交渉に対して誠意のない対応をする以上、提案に対して一切議論を進めるわけにいかない」と通告し、団体交渉を打ち切りました。

組合員に犠牲を強いるのであれば、経営陣がそのための決意と覚悟を示すことは当然です。経営陣の姿勢を糾すために、中央本部は引き続き全力で取り組んでいきます。

以上